

## 地球環境にやさしい温泉リゾートのCO<sub>2</sub>削減及び気候変動被害軽減への取り組み

株式会社一の坊

【住 所】〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2-1-10 【TEL】022-222-0177  
 【URL】<https://www.ichinobo.com/news/?c=7>

活動概要

緩和・適応分野

### 取組の概要

当社が提供する温泉リゾートは、森林・海洋環境の保全があってこそ成り立つとの認識のもと、地球温暖化による環境破壊を防ぐために温泉宿として出来ることを経営トップと社員が一体となり検討し、2017年からお客様と社員が共に幸福になれる地球環境にやさしい温泉宿を目指す快適エコ活動を立ち上げ、CO<sub>2</sub>削減と気候変動被害の軽減に積極的に取り組んでいます。

### 気候変動対策としての貢献度

事業所全体のCO<sub>2</sub>削減の取り組みを2017年度から開始して約2,589tのCO<sub>2</sub>を削減し、約42%の削減率となっております。

また、オーダービュッフェを2020年から開始し年間約12.8tの生ごみを削減するとともに、排出された生ごみを肥料として食品リサイクルすることで肥料不足が懸念される農業へ貢献しております。

更に、客室アメニティを自然素材へ切り替える取り組みにより、年間約0.7tのプラスチックごみを削減して自然生態系への影響を軽減しております。

### 期待される波及効果

温泉宿で未だ導入事例が少ない温泉廃熱利用システムを2018年度に宮城県内で初めて導入して情報発信を行っており、全国の温泉宿に波及していければ、大幅なCO<sub>2</sub>削減の進展が望めます。

フードロス削減につながるオーダービュッフェスタイル及び生ごみの食品リサイクルを宮城県内で率先して導入して情報発信を行っており、全国の食事を提供する事業者に波及していければ、気候変動被害（農林水産業）の軽減が望めます。

### 刷新的要素

- 1 経営トップと社員が一体となり取り組んだ持続可能なCO<sub>2</sub>削減及び気候変動被害を軽減する体制づくり
  - (1) 活動の意思決定が円滑にできるように社長を筆頭とした快適エコ活動推進委員会の設置
  - (2) 応募活動が中長期的に継続できるようにPDCAサイクルを全社へ導入
- 2 温泉宿で導入が少ない温泉廃熱利用システムを率先して導入し、温泉熱を再利用
- 3 オーダービュッフェスタイルを率先して導入し、フードロスを削減

### 今後の計画、持続的な展開の展望

当社の気候変動の緩和・適応活動を統括する快適エコ活動計画は、2024年4月に第3次快適エコ活動計画として事業継続しております。

特に、温泉廃熱利用システムは捨てられていた温泉水を再生可能エネルギーとして有効利用して地球環境保全に寄与するとともに、水道光熱費の削減にもつながることから、施設見学を受け入れながら全国の温泉宿に普及して参ります。



温泉リゾート 松島一の坊



オーダービュッフェでの食事提供